

## 赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮原因プランクトンであるケラチウム・フルカが最大15細胞/ml、および麻痺性貝毒原因プランクトンであるギムノディニウム・カテナータムが最大29細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や水色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

※(本日の調査はクロロフィル量が多い水深から採水した海水1mlの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	採水水深	コクロディニウム ポリクリコイデス	ケラチウム フルカ	ギムノディニウム カテナータム
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	(m)	(細胞/ml)		
藻津①(別図⑨) 採水時間 9:04 透明度 -	0.0	24.5	31.7	6.4	4	0	0	0
	5.0	24.3	33.9	6.2				
	10.0	24.1	34.0	6.5				
大島中央①(別図⑤) 採水時間 9:13 透明度 -	0.0	24.4	31.3	6.2	5	0	0	0
	5.0	24.4	33.9	6.2				
	10.0	24.0	34.0	6.1				
小筑紫中央①(別図⑬) 採水時間 9:23 透明度 -	0.0	24.6	32.8	6.3	8	0	0	0
	5.0	24.3	34.0	6.5				
	10.0	23.9	34.0	6.3				
栄喜奥(別図②) 採水時間 9:42 透明度 -	0.0	24.5	33.4	6.2	3	0	12	0
	5.0	23.9	34.0	5.8				
	10.0	23.7	34.0	5.7				
青瀬山(別図③) 採水時間 9:51 透明度 -	0.0	24.6	30.3	6.2	6	0	15	0
	5.0	24.4	33.9	6.5				
	10.0	24.1	33.9	5.9				
弘浦②(別図①) 採水時間 10:03 透明度 -	0.0	24.7	32.2	6.3	6	0	7	29
	5.0	24.3	33.9	6.4				
	10.0	24.1	34.0	6.2				